

(一般屋内用)

保管用

品番	タイプ
FSA (FSAH) 21615J FSA (FSAH) 22615J FSA (FSAH) 22910J	下面開放タイプ
FSA (FSAH) 22666J	Hfフリーコンフォート

※上記()内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

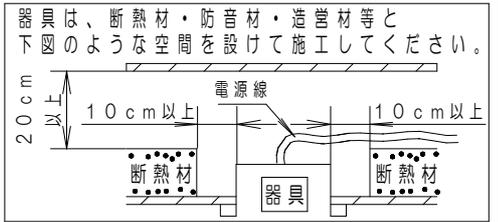
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 **工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。



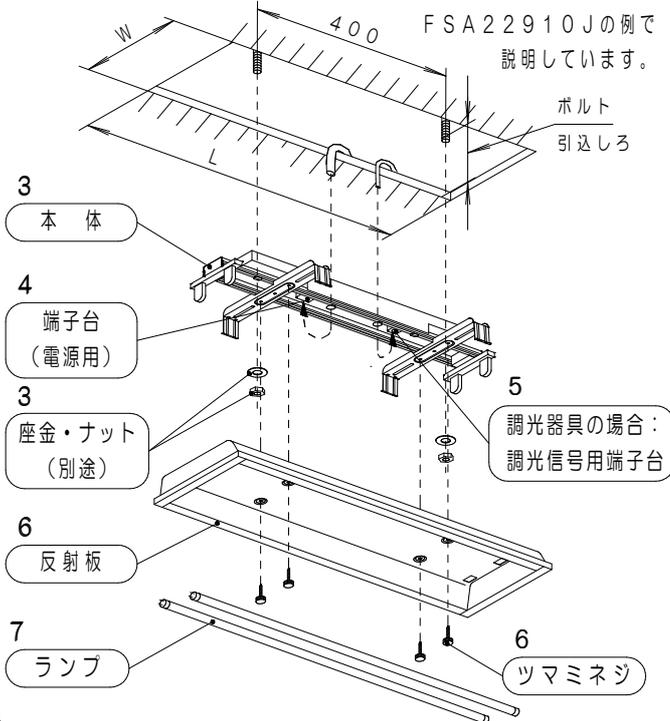
注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

各部のなまえと取付方法

< FSA21615J・FSA22615J・FSA22910Jの場合 >

品番	埋込穴寸法 W×L(mm)	ボルト引込しろ
FSA21615J	150×626	40～55mm
FSA22615J	150×626	40～55mm
FSA22910J	300×639	65～80mm



1 取付前の確認

- ・ 器具質量(3.7kg:FSA22910Jの場合)に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
- ・ 取付ボルトは極端な斜め出しにならないこと。不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口

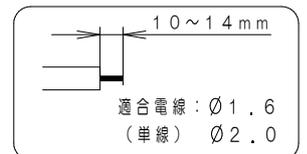
- ・ 埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3 本体の取付

- ・ 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・ 本体を取付ボルトに確実に取付ける。(推奨トルク値0.8N・m)
ナットを必要以上に締め過ぎると、器具が変形・破損する場合があります。不備があると器具落下・感電の原因となります。

4 電源線・アース線の接続

- ・ 電源線・アース線を確実に差し込む。
- ・ 端子台の容量は、20Aです。(送り機能付)
- ・ D種(第3種)接地工事が必要。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。



5 調光信号線の接続(調光器具の場合)

- ・ 次ページの説明文に従い、確実に接続してください。

6 反射板の取付

- ・ ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取付ける。取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

7 ランプを確実に取付ける

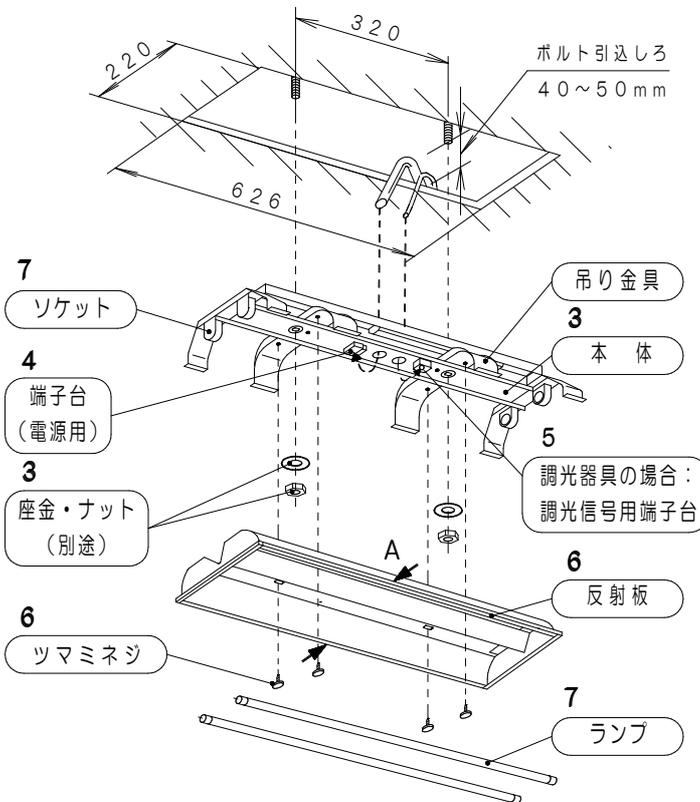
- ・ ランプをソケットにセットしてから、90°回転させる。取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

各部のなまえと取付方法

警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

< F S A 2 2 6 6 6 J の場合 >



プラスユニット取付の場合

反射板のA寸法が一定になるようにツマミネジで調整する
(次ページ「プラスユニットの取付」参照)
(本体の締付や天井強度によって条件が変わる場合があります)
・反射板が膨らんでいる場合 → 器具全長にわたって光が漏れる
・反射板が狭まっている場合 → プラスユニット取付が困り

1 取付前の確認

・器具質量(3.1kg)に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口

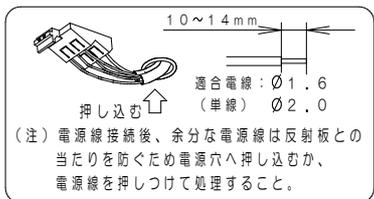
・埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3 本体の取付

・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・本体を取付ボルトに確実に取付ける。(推奨トルク値0.8N・m)
ナットを必要以上に締め付けると、吊り金具部の天井材が変形・破損する場合があります。

4 電源線・アース線の接続

・電源線・アース線を確実に差し込む。
・端子台の容量は、20Aです。(送り機能付)
・D種(第3種)設置工事が必要。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。



5 調光信号線の接続(調光器具の場合)

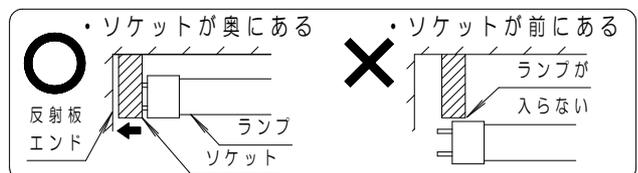
・下記の説明文に従い、確実に接続してください。

6 反射板の取付

・ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取付ける。
電源線をボルトと反射板で挟まない様十分注意してください。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

7 ランプを確実に取付ける

・ソケットの位置を確認し、前にずれている場合はソケットを奥へ押ししてからランプを取付ける。(下図参照)
・ランプをソケットにセットしてから、90°回転させる。
取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

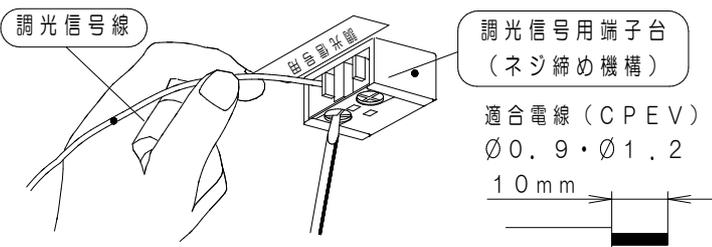


調光信号線の接続(調光器具の場合)

警告

調光信号線は下記に従い確実に取付ける。不備がある場合、感電・火災の原因となります。

調光信号用端子台に接続する場合



< 調光信号線の接続 >

●表示ラベルに合わせてください。
・調光信号線を確実に差し込み、ネジを締め付けて固定する。
・調光信号線に極性はありません。
・調光信号用端子台の容量は15Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、正常に調光できなくなります。

- ・適合コントローラ
 - インバータイコン
 - セルコン(セパレートセルコン, コンビニセルコン, スーパーマーケットセルコン等)
 - 調光T/U

・上記以外のものを使用の場合は弊社までお問い合わせください。
・コントローラとの結線又は制御可能台数は、使用するコントローラの説明書をご参照ください。

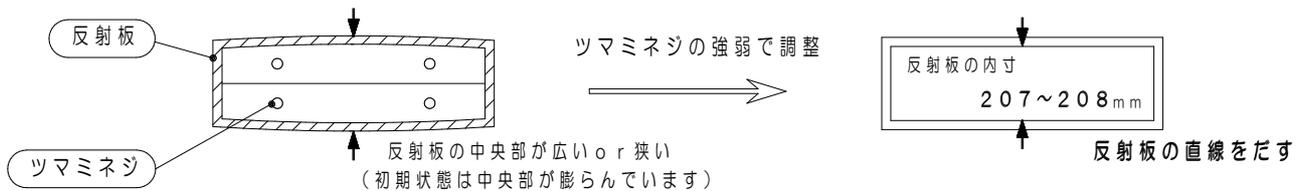
プラスユニットの取付（FSA22666Jの場合）

注）本体が確実にナットで締め付けられているかも一度ご確認ください。（緩んでいると正しく取付かない場合があります）

- ・プラスユニット・交換用給電部品ユニットの取付方法は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。
- ・カッコ内は公共施設用照明器具型番を示す。

プラスユニット	<ul style="list-style-type: none"> ・FSK22259 : スペースコンフォート ・FSK22215 : OAアルミルーバ クラス1 ・FSK22225 : OAアルミルーバ クラス2 ・FSK22235 : OAアルミルーバ クラス3 ・FSK22270F : マルチコンフォート15ルーバ
---------	--

- ・施工時、以下の点に注意して取付けてください。 <天井の強度によって反射板の形状を調整してください>
- ◇プラスユニットの全長にわたり光がもれている → ツマミネジを少し締めて、下図のように反射板の直線をだしてください。
- ◇プラスユニットが反射板に当たって取付が固い → ツマミネジを緩めて、下図のようにもう一度締め直してください。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。（チェックシート番号：CLX2021BA）点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

保証について

- ・保証について・・・・・・この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の・・・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しております。
保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

- ・器具の清掃について・・・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について・・・・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

交換部品

Hf 蛍光ランプ

FHF16EX

注意

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと

